

2018年度 韓国留学報告書

留学先：慶熙大学校

留学期間：9月1日（土）～12月27日（木）

国際情報大学国際文化学科

21017084

田宮 満帆

目次

1. 留学先および留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学の目的	4
4. 留学内容	4
4-1 留学のスケジュール	4
4-2 留学の詳細	6
5. 所感	8
6. 謝辞	8

付録

留学日誌	10
------	----

1. 留学先および留学期間

留学先：慶熙大学校 国際教育院

留学期間：平成 30 年 9 月 3 日（月）～平成 30 年 12 月 27 日（木）

2. 留学先概要

(1)大学について

韓国大統領である文在寅大統領や俳優、アーティストといった多数の著名人を輩出している名門私立大学である慶熙大学校は、留学先となったソウルキャンパスの他に水原キャンパスと光陵キャンパスがある。

この 3 つのキャンパス内には 20 の単科大学があり、ソウルキャンパスには幼稚園から大学院までを備えた総合的な教育体系を有する。また、慶熙大学校は世界 78 か国 508 校の大学と交流協定を結んでいるなど国際化に力を入れている大学であり、韓国語・外国語の専門教育を受けられる国際教育院という機関がある。

(2)大学で行われる教育について

上記の通り、国際化に力を入れている慶熙大学校は各国の韓国語学習者に向けた韓国語教育文化体験プログラムが充実していることが特徴である。

毎年世界 110 余か国 6000 名以上の韓国語学習者が国際教育院で韓国語教育と韓国文化を学んでいる。

初級 1 から上級 2 の 6 段階のクラスにレベル別に分けられ 15 人程の少人数

クラスで学習する。初級 1 のクラスではハングルの書き方から学習することができ、さらに個人のレベルに合わせて丁寧に先生が指導してくれるなど、韓国語が全く分からなくても安心して学習することができる。

また、慶熙大学の学生と 1 週間に 1 度会って交流する「トウミ制度」は、韓国文化の理解や韓国語学習のサポートをしてくれるため、この制度を活用することは韓国生活をさらに快適に

なると考える。

3. 留学の目的

今回の留学の目的は、第一に語学力の向上である。昨年度の後期から約 1 年間・週 3 回の韓国語の授業を受けたため基礎的な韓国語能力は身についたが、実際に韓国語で会話する上で、まだまだリスニングやスピーキングの実力が足りないと感じた。そのため実際に韓国語が日常的に話される環境に身を置き韓国語の実力の向上を目的とする。

韓国文化については、授業だけでなく様々な韓国の文化に関わることで日本の文化との違いを理解する。また、韓国の歴史的建造物を実際に見学することで、韓国の歴史の学習を目的とする。

4. 留学内容

以下から留学の内容について記述する。

4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

9月1日（土） 出発 入寮

9月3日（月） 日程

時間	内容
9：00～9：30	オリエンテーション
9：30～11：00	クラス分け試験（作文、口述試験）
11：00～11：20	広報ビデオ視聴
11：30～12：00	キャンパスツアー

9月4日（火）～9月21日（金）3週間時間割り

月	日	午前		午後
9	4（火）	文法授業	スピーキング	韓国特講
	5（水）	文法授業	スピーキング	セミナー
	6（木）	現地学習①		
	7（金）	文法授業	スピーキング	
	10（月）	文法授業	スピーキング	韓国の歌
	11（火）	文法授業	スピーキング	韓国特講
	12（水）	文法授業	スピーキング	セミナー
	13（木）	現地学習②		
	14（金）	文法授業	スピーキング	
	17（月）	文法授業	スピーキング	韓国の歌
	18（火）	文法授業	スピーキング	韓国特講
	19（水）	文法授業	スピーキング	セミナー
	20（木）	文法授業	スピーキング	韓国の映画
	21（金）	クラスの集まり		修了式

9月22日（土）～9月30日（日） 秋夕（チュソク）のため休日

10月1日（月）～12月7日（金）10週間正規家庭時間割り

曜日	午前		午後
月	文法授業	韓国語機能	韓国の歌
火	文法授業	韓国語機能	韓国特講
水	文法授業	韓国語機能	セミナー
木	文法授業	韓国語機能	韓国の映画
金	文法授業	韓国語機能	

10月31日（水），11月1日（木） 中間テスト

11月7日（水）現地学習③

12月3日（月），12月4日（火） 期末テスト

12月10日（月）～12月21日（金） 2週間特別 TOPIC対策授業

曜日	午前		午後
月	文法授業	TOPIC 過去問演習 (リスニング・リーディング)	韓国の歌
火	文法授業	TOPIC 過去問演習	韓国特講
水	文法授業	TOPIC 過去問演習	セミナー
木	文法授業	TOPIC 過去問演習	韓国の映画
金	文法授業	TOPIC 過去問演習	

12月22日（土）～12月26日（水）自由研修

12月27日（木） 帰国

4-2留学の詳細

韓国留学のスケジュールの詳細は以下お通りである。

- ・土曜日、日曜日は休日
- ・クラス分け試験（作文、口述試験）、この試験はまず作文試験は、いくつかの内容の中から書く内容を自分で選択し、自由にすべて韓国語で記述する。その内容によって難易度や核文字数は異なる。作文試験が終わり、先生と1：1になり、先生からの質問に自分ができる範囲の韓国語で答える。
- ・10週間正規過程の午前の後半は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングを日替わりのローテーションで学ぶ。
- ・午後の授業はNUISの午前学生のみが集まり授業を受ける。金曜日の午後の授業はない。
- ・韓国の歌の授業では、最後に一人一人好きなアーティストを決め、そのアーティストに関して紹介した。そのアーティストは韓国のアーティストを題材にしていた人もいたが、日本やアメリカのアーティストを題材にしていた人もいた
- ・韓国特別講義では毎週違う内容の講義で、韓国の文化を中心に学習した。実践的な講義が多く、テコンドーやダンス、書道なども体験し、最後の授業ではナンタという舞台も見に行った。
- ・セミナーでは、自分でテーマを決め、そのテーマに沿って調査し、その調査結果をまとめ最終的に発表するという授業であった。調査段階では韓国の人などにもアンケート調査を行い、

発表のためのパワーポイントも制作した。

・韓国の映画の授業では韓国語の映画を見て聞き取りの能力を身に着け、その映画に出てくる登場人物の特徴を韓国語で説明した。

・現地学習では、一回目の現地学習では、他のコースの留学生と共にバスでソウル市内の国立中央博物館やソウルタワーを見学した。二回目は、ロッテワールドアクアリウムとロッテワールドアドベンチャーに行った。基本的には自由行動で、それぞれがとても楽しめた。三回目の現地学習は、冬のソナタの撮影地としても有名な南怡島に行った。

・中間試験、期末試験共に2日間で文法、読解、会話、聞き取り、書きそれぞれの試験が行われた。会話の試験では、先生と一対一の法式とクラスの人と二人一ペアになり、出されたお題について会話する法式があった。

・TOPIC対策授業では前半の授業で、中級1で習う文法を先生がピックアップしてくれた文法を学習した。後半の授業は、TOPIC試験の過去問を行い、その後の授業はその解説やよく出る文法などの授業を行った。

5.所感

当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 語学力の向上

留学前は、文法を中心に大学では学習していたため、韓国語を話すことや聞き取ることに關してはほとんどできず不安だったが、留学が終わるころには言いたいことを相手に伝えたり、店員さんが言っていることを聞き取れたりとかなり語学力が身についたと感じた。また、クラス

の韓国語を学ぶ外国人の友達とご飯を食べに行く機会に韓国語で相手と意思疎通ができたときは本当に嬉しかったし達成感があった。私のトウミの子は日本語が全く話せず最初に遊んだときはあまり会話が広がらなかったりと、悩みましたが、だんだん考えなくても韓国語で話すことができ会話も広がり楽しく過ごすことができた。

ii) 自分自身の成長

生活面において、すべて自分でやらなければいけないという環境で生活していたため自立心はついたと思う。また、多国籍のクラスメイトと接することが初めてだったので、日本と他国の様々な面での違いや共通点を肌で感じ、今まで未知だったこともたくさん得られた。

6. 反省・課題

4 カ月といった短い時間であったが、非常に多くのことを学ぶことができ、有意義で貴重な体験をした留学であった。留学前に比べると留学後は、語学力も自分自身も大きく成長し、留学をして良かったと心から思う。この4カ月で得た多くのことを今後に活かし、一層韓国語の勉強に力をいれていきたい。

7 謝辞

今回、慶熙大学国際教育院にて指導をしてくださったキルジス先生、チョソンギョン先生、また生活面全般に置いて面倒を見てくださった林りな先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、留学へのサポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、申銀珠先生、吉沢文寿先生には心より感謝いたします。

最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

8, 付録



